

陰圧テントなど一式
豊洲病院に無償貸与

小松のイケガミ

小松市今江町の建材メーカー「イケガミ」が十三日、自社で開発した医療用陰圧テントや検温ゲートなど一式を、東京都江東区の昭和大江東豊洲病院に無償貸与した。池上茂雄社長(六)らが同日、現地で設営した。

新型コロナウイルス感染防止のため、陰圧テントは救急外来の出入り口に設け



陰圧テントを貸与した池上茂雄社長(中)と笠間毅院長(左)、上條由美副院長(右)＝東京都江東区で(イケガミ提供)

た。内部の気圧を低くできるため、外部に空気が漏れず感染防止に役立つ。医療従事者の待合所とするテントと検温ゲートも含めた三点セット(販売価格三百万円)で貸し出した。

笠間毅院長と上條由美副院長が対応し「素晴らしいテント」などと感謝していたという。池上社長は「みなさんに喜んでもらえて良かった。東京も感染者が増えているので、感染防止に役立てば」と話した。

イケガミは、新型コロナウイルスの集団感染が発生した東京都台東区の永寿総合病院にも一式を無償貸与している。(青山直樹)